

♥ 平成30年度 6年生 年間指導計画(51h) 中丹版

順序	学期	使用教材	単元	タイトル	標準 時数	配当 時数	順序	略案	表現	配列のポイント	HF等との 関連	文字指導 (S&L)	HF Plus の 活用	単元目標
①	一 学 期 (15h)	HF2	L1	Do you have "a"? 言語 文字	4	3		△	Do you have ~ ? Yes, I do. / No, I don't.	活字体小文字を最初の単元に位置付け、その後の単元でも毎時間小文字に触れることで、定着させる。※大文字は計画に入っていないので、意図的に繰り返す必要がある。	4-U5 4-U6 5-U1	小文字 読む		【コ】進んで、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 【慣】30~100の数の言い方や、ある物をもっているかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【気】身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付く。 ※この単元以降、毎時間少しずつ活字体の小文字に触れ、十分慣れ親しませる。
②		HF2	L2	When is your birthday? 行事 月 日付	4	4			When is your birthday? My birthday is March eighteenth.		5-U2 6-U1	小文字 読む		【コ】進んで、誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。 【慣】月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。 【気】世界には、様々な祭りや行事があることに気付く。
③		HF2	L3	I can swim. スポーツ 動作	4	4			I can / can't ~ . Can you ~ ? Yes, I can. / No, I can't.		5-U5 6-U1 6-U3	abcd 書く	④ ⑤-1 ⑦-1	【コ】進んで、できることを尋ねたり、自分のできることやできないことを答えたりしようとする。 【慣】自分についてできる、できないことを表したり、できるかどうかを尋ねたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を識別し、その読み方や書くことに慣れ親しむ。(小文字を読む・書く) 【気】言語や人、それぞれに違いがあることを知る。
④		新5	U5	She can run fast. He can jump high. できること	8	2		○	Can you (sing well) ? Yes, I can. / No, I can't. (I/ You/ He/ She) (can/ can't) sing well.	三人称単数導入	2-L3	(e) 書く	④ ⑤-1 ⑦-1	【コ】第三者についてできることやできないことを紹介し合おうとする。 【慣】第三者について、できることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
⑤		新5	U9	Who is your hero? あこがれの人物	8	2 15	★	○	Who is your hero? This is my hero. (He/she) is good at (playing tennis). (He/She) is a good (tennis player). (He/She) can (cook well). (He/She) is (kind/cool/great/strong/gentle/active/brave/funny).	↓ 人物紹介		(f) 書く	④ ⑤-1 ⑦-2	【コ】自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。 【慣】第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。
⑥	二 学 期 (22h)	新6	U5	My summer vacation. 夏休みの思い出	8	4	★	○	I went to (my grandparent's house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream). It was ( fun/ exciting/ beautiful/ delicious).	夏休みの思い出は2学期スタートの時期に行く。		(g h i) 書く	④ ⑤-1 ⑦-2	【コ】進んで、夏休みの思い出について伝え合おうとする。 【慣】夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。 【気】英語の書き方の規則に気付く。
⑦		新6	U3	He is famous. She is great. 人物紹介	8	2	★	○	I am (Ken). I ( like/ play) the violin/ baseball. I ( have/ want) a new ( recorder/ a ball). I eat (spaghetti). I study (math). I can ( swim/ cook/ skate/ ski/ sing/ dance).	自分や第三者ができることやできないことを表す表現を思い出させる。	2-L3			【慣】自分や第三者ができることやできないことを表す表現に慣れ親しむ。また、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しむ。 【気】(主語+動詞+目的語)の文の語順に気付く。
⑧		新6	U4	I like my town. 自分たちの町・地域	8	2	★	○	We have/ don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy (fishing/ shopping/ swimming). I want a (library/ park). (Sakura) is a nice town.	自分たちの町・地域 ↓ 建物・道案内		(j k) 書く	④ ⑤-1 ⑥-2 ⑦-2 ⑦-3	【慣】地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。また、書くことに慣れ親しむ。
⑨		HF2	L4	Turn right. 建物 道案内	4	5			Where is the school? Go straight. Turn right/ left. Stop. Excuse me. ( on/ by/ in/ under)	前置詞を扱う為、HF2 L4については1時間増で行う。(略案有)	4-U8 5-U7	l m n o p 書く	④ ⑤-2 ⑦-3 ⑦-4	【コ】進んで、道を尋ねたり、道案内をしたりしようとする。 【慣】道案内や、物の位置(on, by, in, under)を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を書くことに慣れ親しむ。 【気】英語と日本語での建物の表し方の違いに気付く。
⑩		HF2	L5	Let's go to Italy. 世界の国々 世界の生活	4	4			I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go.	自分たちの町・地域の単元の後に世界の国々のことを扱う。	5-U6 6-U6	q r s t 書く	④ ⑤-2 ⑦-4	【コ】進んで、おすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いたりしようとする。 【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な表現を書き写すことに慣れ親しむ。 【気】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。
⑪		HF2	L6	What time do you get up? 世界の国々 世界の生活	5	5 22			I get up at seven. What time do you get up?		4-U9 5-U4	u v w x y z 書く	④ ⑤-3 ⑦-5	【コ】進んで、自分の一日を紹介したり、友達の一日を聞き取ったりしようとする。 【慣】一日の生活について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な表現を書き写すことに慣れ親しむ。 【気】世界には時差があることに気付く、様々な生活が営まれていることに気付く。
⑫	三 学 期 (14h)	新6	U7	My Best Memory 小学校生活・思い出・行事	8	4	★	○	What's your best memory? My best memory is (sports festival). We enjoyed (running). We [went to (Kyoto)/ ate (Japanese food)/ saw (old temples)/ enjoyed (the trip)].	文集作成の時期に合わせて行う。		(sh ch th) 空書		【コ】思い出の学校行事について伝え合おうとする。 【慣】学校行事について表す表現に慣れ親しむ。また、学校行事について簡単な語句や表現を推測しながら読んだり、例を参考に書くことに慣れ親しむ。 【気】英語の書き方の規則に気付く。
⑬		HF2	L8	What do you want to be? 職業 将来の夢	4	4	★		I want to be a teacher. What do you want to be?		5-U3 6-U8	wh 空書		【コ】進んで、自分の将来について交流しようとする。 【慣】どのような職業に就きたいか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【気】世界には様々な夢をもつ年代の子供たちがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。
⑭		新6	U9	Junior High School Life 中学校生活・部活動	6	4		○	I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard/ read many books/ make many friends].	中学校生活の内容のため年度末に行く。		(A~Z, a~z) 復習	⑥-1 ⑥-2 ⑥-3	【コ】進んで、中学校生活について伝え合おうとする。 【慣】中学校の部活動や学校行事などについて自分の考えを表す表現に慣れ親しむ。中学校生活について書かれている英語を推測しながら読むことに慣れ親しむ。 【気】身の回りには英語が使われている場面があることに気付く。
⑮		新6	U1	This is me. 自己紹介 (中学校への1st step!)	8	2 14	★	○	Hello. My name is ○○. My birthday is (August 19th). I like /play (soccer). I can (play soccer well). I am good at (running). I enjoyed (sports day). I want to join the (basketball team). I want to be a soccer player. I want to make many friends. Thank you.	6年生最後の授業にあたり、しっかりと相手意識をもって人前で堂々とスピーチできるよう指導したい。※事前に原稿を作成する為、1h増(略案有)	1-L1 1-L4 2-L2 2-L3	(A~Z, a~z) 復習	⑩-1 ⑩-2	【コ】好きなことなどを含めて自分のことを伝え合おうとする。 【慣】自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを表す表現に慣れ親しむ。

※順序の欄の★は、指導する順序を入れ替えた単元。

略案の欄の○は、指導略案を作成する単元。略案の欄の△は、「Alphabet Jingle」・「Sounds & Letters」の活動を導入する単元。

HF等との関連欄には、HF使用の単元は新教材のUnit番号を、新教材使用の単元はHFのLesson番号を示す。

HF Plusの活用欄には、文字指導(書く)をする際に活用できるワークシートの番号を示す。

学年終了時にはアルファベットの大文字、小文字を4線の上に正確に書くことができるようにする。また、最後の単元「This is me.」では、相手意識をもって自分自身のことを人前でスピーチできるようにする。

絵本については単元で扱うのではなく、特設で扱うこととする。